

●スノーエックス・ユーザーの紹介

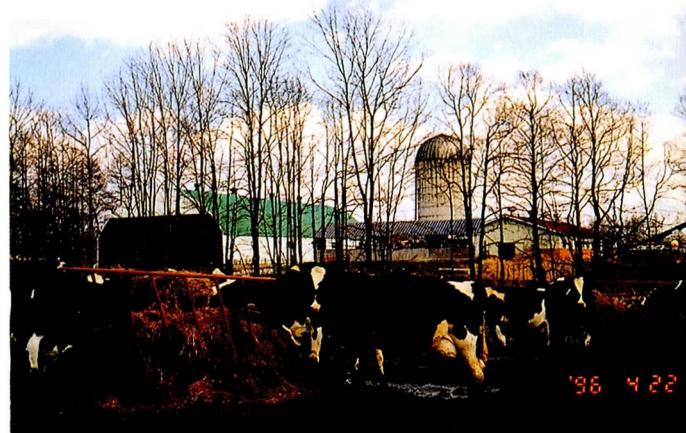
愛牛の健康増進（疾病予防）に 役立つスノーエックスの菌パワー!!

雪印種苗(株) 道東事業部

帯広営業所

業務課

西田 耕修
古川



パドックより牛舎を望む

はじめに

各地でその効果を発揮している土壌微生物発酵飼料「スノーエックス」ですが、今回、この「スノーエックス」が牛の健康増進に役立っているという北海道足寄町上芽登地区の佐藤牧場の事例を紹介します。

足寄町は歌手・松山千春氏の出身地として一躍有名になりましたが、酪農・肉牛経営が盛んであり、その中で芽登地区は山合いの南北に広がる丘陵地を利用して草地型酪農を展開している地区です。

1 佐藤牧場の概況

佐藤牧場の大黒柱・智好氏は昭和48年に父・辰治氏から家業を受け継いで以来、現在では、妻さくらさんと二人三脚で、経産牛50頭、育成牛43頭、飼料畑52.4haを管理するチャレンジ精神旺盛な“ハリキリ父さん”です。

最近の乳検成績について、平成6年は夏の暑さと飼料バランスが思うようにいかず、乳量は伸びなかつたとのことですが、昨年は、経産牛1頭当たり平均約8,780kg(117%)まで改善したそうです。

飼料給与面では、夏場は放牧、舎飼期ではロールラッピングサイレージを中心とした給与内容です。放牧はこれまでの時間放牧から、昨年から昼夜放牧に取り組んでおり、草地整備はまだ未完成ながら、体系確立に向けて情報収集に余念のない状況です。

2 「スノーエックス」の給与

北海道に限らず、全国的に重要視されているふん尿対策ですが、智好氏もスノーエックス給与を思い立ったポイントは、“堆肥の発酵促進”に期待してのことでした。

スノーエックスの給与は平成5年5月より開始していますが、その後の変化はどうだったのでしょうか。

① 悪臭が減少した

まず、返ってきた言葉は牛舎内の悪臭が減少したというものです。そして、堆肥のきつい臭いもしなくなったそうで、これらはスノーエックスの給与効果としての第一ポイントでしょう。

家畜を悪臭ストレスから守り、畜産環境を改善するとは、まさにこのことです。

ただし、本人も言うように、当初予定の“完熟堆肥化”へのアプローチは今一步のところであり、堆肥管理に関しては今後の課題としています。



写真1 キツイ臭いがしなくなった堆肥

② 牛が、なによりも健康だ

悪臭の減少以外に、智好氏が顕著に感じているのは牛の調子が良くなることです。

まず、酪農家のほとんどが頭を悩ます“乳房炎牛”が減少した点を真っ先に挙げています。スノーエックス給与以前は、この乳房炎が原因で廃用となった牛もいたようですが、最近では、このような発生もなく、順調に経過している様子です。

このような牛の調子を良くする、健康を増進するという点を再認識したのは、昨年の夏、スノーエックスの給与を一時中断した時のことです。それまで調子の良かった牛群に、乳房炎が4～5頭続いている発生するという事件（？）がありました。

そこで、スノーエックスの給与を再開した結果、調子を取り戻した、というわけです。この点は、参考までに見せていただいた乳検成績でも傾向を読み取れます。スノーエックス給与を中断した月とその前後の検定成績より、体細胞数とリニアスコアの推移を図に示しましたが、スノーエックスを中断した時期にポイントが上昇し、その後、減少しています。

“牛の調子が良くなる”という点は、何も乳房炎減少に限ったことではありませんが、牛群の変化について、畜主の方が“肌で感じる”部分の一例として紹介しました。いずれにしても、乳房炎の発生が少ないことは牛が健康で抵抗力があるためだと思います。

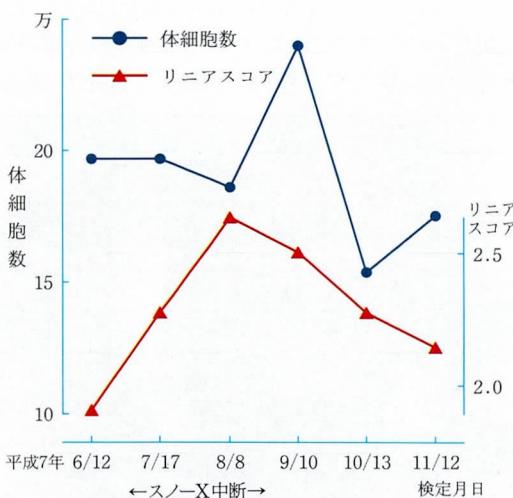


図 体細胞数とリニアスコアの推移

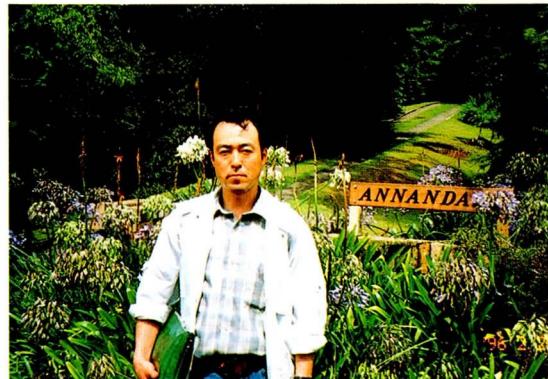


写真2 牛の健康を肌で感じると言う佐藤智好さん
(ニュージーランド視察時のスナップ)

3 今後にむけて

現在の酪農情勢をみて、佐藤牧場も省力化・コスト低減への方向を見据えているのは言うまでもありません。既述したように、昨年から放牧中心の飼養体系へと進めていますが、今後は季節分婉を含めた、この放牧中心の飼料管理体系の確立を目指す意気込んでいます。

その情報収集の一環として、北海道内の放牧利用農家の視察にとどまらず、今年2月には、ニュージーランド視察と、現在模索中とはいえ、なかなか精力的です。

智好氏のモットーは、“失敗にくじけず、思い立ったら即実行。”とのことで、今後も試行錯誤を繰り返しながらも堅実に経営されることでしょう。

おわりに

佐藤牧場においては、スノーエックスの“直接効果”である家畜の健康に貢献するパワーをいかんなく発揮していると思います。

私たちも健康を維持するためには普段の食生活と運動に注意しなければなりません。そして、食事で不足しているものは、“何か”で補給する必要があります。

このことは家畜においても同じことであり、佐藤牧場の場合、その“何か”が「スノーエックス」と言えるでしょう。

“家畜の健康”は、“飼い主の健康”につながります。ぜひ「スノーエックス」のパワーをお試し下さい。